作成日　2024 年 4 月 1 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：　サンケイセーフガード乳剤

供給者の会社名称，住所及び電話番号

| | | |
|---|---|---|
| 会社名称 | ： | サンケイ化学株式会社 |
| 住所 | ： | 〒110-0005　東京都台東区上野 7 丁目 6-11（第一下谷ビル） |
| 担当部門 | ： | 開発部 |
| 電話番号 | ： | 03-3845-7951 |
| ＦＡＸ番号 | ： | 03-3845-7950 |
| 緊急連絡先 | ： | 同上 |

整理番号　：　B － 203

推奨用途及び使用上の制限　：　農薬

## 2. 危険有害性の要約

化学品のＧＨＳ分類

| | | | |
|---|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | ： | 区分 3 |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） | ： | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（経皮） | ： | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（吸入：蒸気） | ： | 区分 4 |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | ： | 区分 2 |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | ： | 区分 2 |
| | 呼吸器感作性 | ： | 情報なし |
| | 皮膚感作性 | ： | 区分に該当しない |
| | 生殖細胞変異原性 | ： | 区分 2 |
| | 発がん性 | ： | 分類できない |
| | 生殖毒性 | ： | 区分 1 |
| | 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | ： | 区分 1（呼吸器系）<br>区分 2（全身毒性、中枢神経系）<br>区分 3（麻酔作用） |
| | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | ： | 区分 1（中枢神経系、骨）<br>区分 2（肝臓、神経系、肺、骨髄、血液系） |
| | 誤えん有害性 | ： | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性　短期（急性） | ： | 区分 3 |
| | 水生環境有害性　長期（慢性） | ： | 区分 3 |

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示　：

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報　：

| | |
|---|---|
| H226 | 引火性液体及び蒸気 |
| H332 | 吸入すると有害 |
| H315 | 皮膚刺激 |
| H319 | 強い眼刺激 |
| H341 | 遺伝性疾患のおそれの疑い |
| H360 | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ |
| H370 | 呼吸器系の障害 |
| H371 | 全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ |

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

H336　眠気又はめまいのおそれ
H372　長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、骨の障害
H373　長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、神経系、肺、骨髄、血液系の障害のおそれ
H402　水生生物に有害
H412　長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き　：【安全対策】
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P210　熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233　容器を密閉しておくこと。
P240　容器を接地しアースを取ること。
P241　防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
P242　火花を発生させない工具を使用すること。
P243　静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は手をよく洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271　屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273　環境への放出を避けること。
P280　保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。

：【応急措置】
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P303+P361+P353　皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314　気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
P321　特別な処置が必要である(4.応急措置を参照)。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364　汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378　火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

：【保管】
P403+P233　換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405　施錠して保管すること。

：【廃棄】
P501　内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

| 化学名又は一般名 | 含有量 |
|---|---|
| N，N’－［ピペラジン－１，４－ジイルビス（２，２，２－トリクロロエタン－１，１－ジイル）］ジホルムアミド<br>（一般名：トリホリン） | 18.0% |
| 有機溶剤、界面活性剤等 | 82.0% |

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

| 化学名又は一般名 | 含有量 | CAS No. | 化管法管理番号 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法 | 安衛法 |
| トリホリン | 18.0% | 26644-46-2 | ― | ― | 8-(2)-510 |
| イソプロパノール | 0.95% | 67-63-0 | ― | 2-207 | 2-(8)-319 |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸トリエチルアミン塩 | 24.5% | 29061-63-0 | 1 種 30 | ― | ― |
| シクロヘキサノン | 20.9% | 108-94-1 | ― | 3-2376 | ― |
| N-メチル-2-ピロリドン | 29.8% | 872-50-4 | 1 種 746 | 5-113 | 8-(1)-1014<br>(8-(1)-1013)<br>8(1)-2246<br>10-3517 |

## 4. 応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合　：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石けんでよく洗うこと。
医師の手当て、診断を受けること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合　：水でよく口の中を洗浄すること。
医師の手当て、診断を受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項
：救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項　：飲み込んだ場合は、胃洗浄が有効である。化学性肺炎の原因となる。有機溶媒の吸入を防ぐ。対症療法を行なう。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤　：小火災　粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤
大火災　散水、水噴霧、一般の泡消火剤

使ってはならない消火剤　：火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性　：極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガス(一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、シアン化水素、塩化水素)を発生するおそれがある。
屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。

特有の消火方法　：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合は散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置
：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
作業者は適切な保護具(「８．ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

：風上に留まる。
低地から離れる。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

環境に対する注意事項　：環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。
危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策　：すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「８．ばく露防止措置及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
「８．ばく露防止措置及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項　：使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

接触回避　：過熱、熱、火花、裸火又は着火源。

衛生対策　：取扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管　技術的対策　：保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質　：酸化剤、強酸、強塩基

安全な保管条件　：熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。
酸化剤から離して保管する。
容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い冷所で、施錠して保管すること。

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

イソプロパノール　：200ppm
シクロヘキサノン　：20ppm

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

許容濃度
日本産業衛生学会(2021)
イソプロパノール　：　400ppm、980mg/m3
N-メチル-2-ピロリドン　：　1ppm、4mg/m3
シクロヘキサノン　：　25ppm、102mg/m3
硫酸　：　1mg/m3(最大許容濃度、常時この濃度以下に保つこと)
ＡＣＧＩＨ(2021)
イソプロパノール　：　TWA　200ppm、492mg/m3　・STEL　400ppm、984mg/m3
トリエチルアミン　：　TWA　0.5ppm、2.07mg/m3　・ STEL　1ppm、4.14mg/m3
シクロヘキサノン　：　TWA　50ppm、206mg/m3
硫酸 ソーラシック粒子　：　STEL　0.2mg/m3

設備対策　：　防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度を抑制するには、一般適正換気で十分である。
高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃　　度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具
呼吸用保護具　：　必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具　：　不浸透性手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具　：　眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具　：　顔面用の保護具を着用すること。
必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。
特別な注意事項　：　情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　可乳化油状液体
色　：　淡黄色澄明
臭い　：　溶剤臭
融点／凝固点　：　情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：　情報なし
可燃性　：　情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
：　情報なし
引火点　：　59℃(ペンスキー_マルテンス自動密閉カップ式)
自然発火点　：　情報なし
分解温度　：　情報なし
ｐＨ　：　4～9
動粘性率　：　情報なし
溶解度　：　水に不溶・乳化する
n-オクタノール／水分配係数(log 値)
：　情報なし
蒸気圧　：　情報なし
密度及び／又は相対密度　：　密度　1.07g/cm3(20℃)
相対ガス密度　：　情報なし
粒子特性　：　該当しない

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

## 10. 安定性及び反応性

反応性　：　通常の取扱いにおいては安定である。
化学的安定性　：　通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性　：　強酸、ハロゲン化物と反応する。
避けるべき条件　：　過熱、熱、火花、裸火又は着火源
混触危険物質　：　酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物　：　燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、シアン化水素、塩化水素が発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性
　経口　：　区分に該当しない
　ラット雌　LD50＝3,017 mg/kg
　ラット雄　LD50＝3,868 mg/kg
　経皮　：　区分に該当しない
　ラット　LD50＞2,000 mg/kg
　吸入　：　データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性　：　区分 2
　ウサギ　軽度の刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
　：　区分 2A
　ウサギ　強度の刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　呼吸器感作性　：　データ不足のため分類できない。
　皮膚感作性　：　区分に該当しない
　モルモット(Maximization 法)　感作性なし
生殖細胞変異原性　：　成分の情報より、区分２とした。
　(成分)
　シクロヘキサノン：区分 2
発がん性　：　(製品)情報なし
生殖毒性　：　成分の情報より、区分 1 とした。
　(成分)
　N-メチル-2-ピロリドン：区分 1B
　シクロヘキサノン：区分 2
　イソプロパノール：区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
　：　成分の情報より、区分 1(呼吸器系)、区分 2(全身毒性、中枢神経系)、区分 3(麻酔作用)とした。
　(成分)
　N-メチル-2-ピロリドン：区分 3(麻酔作用)
　シクロヘキサノン：区分 1(呼吸器系)、区分 2(中枢神経系)、区分 3(麻酔作用)
　イソプロパノール：区分 1(中枢神経系、全身毒性)
　　区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
　：　成分の情報より、区分 1(中枢神経系、骨)、区分 2(肝臓、神経系、肺、骨髄、血液系)とした。
　(成分)
　N-メチル-2-ピロリドン：区分 2 (神経系、肺、肝臓、骨髄)
　シクロヘキサノン：区分 1(中枢神経系、骨)
　イソプロパノール：区分 1 (血液系)、
　　区分 2 (呼吸器、肝臓、脾臓)
誤えん有害性　：　データ不足のため分類できない。

作成日　2024 年 4 月 1 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)　：　区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)　：　区分 3

生態毒性
甲殻類　：　EC50(48hr) = 19mg/L

残留性・分解性　：　情報なし
生態蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
オゾン層への有害性　：　該当しない

## 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　：　関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。

汚染容器及び包装　：　関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

## 14. 輸送上の注意

| | | | |
|---|---|---|---|
| 国際規制 | 国連番号 | ： | 1993 |
| | 品名 | ： | その他の引火性液体、他に品名が明示されていないもの |
| | 国連分類 | ： | クラス 3 |
| | 容器等級 | ： | Ⅲ |
| 国内規制 | 陸上輸送 | ： | 消防法、道路法の規定に従う。 |
| | 海上輸送 | ： | 船舶安全法の規定に従う。 |
| | 航空輸送 | ： | 航空法の規定に従う。 |

特別の安全対策　：　輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
運搬中の事故等により災害が発生した場合は、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法
第一種指定化学物質
：　直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。)(管理番号：30)
N－メチル-2-ピロリドン（管理番号：746)

労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条)
：　N-メチル-2-ピロリドン
シクロヘキサノン

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2)
：　N-メチル-2-ピロリドン
シクロヘキサノン
プロピルアルコール

作成日　　2024 年 4 月　1 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

皮膚等障害化学物質等(則第 594 条の 2)
：シクロヘキサノン
Ｎ－メチル－２－ピロリドン【Ｎ－メチルピロリドン】
有機溶剤等(有機則)　：イソプロピルアルコール
シクロヘキサノン
毒物及び劇物取締法　：該当しない
化学物質審査規制法
優先評価化学物質　：N－メチル-2-ピロリドン
シクロヘキサノン
イソプロピルアルコール
トリエチルアミン
消防法　：第４類引火性液体、　第２石油類非水溶性液体
労働基準法
疾病化学物質　：シクロヘキサノン
大気汚染防止法　：揮発性有機化合物(揮発性有機化合物)(排気)
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(トリエチルアミン)(排気)
海洋汚染防止法　：有害液体物質(Ｙ類物質)(N-メチル-2-ピロリドン、トリエチルアミン)
有害液体物質(Ｚ類物質)(イソプロピルアルコール、シクロヘキサノン)
航空法　：その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)(他に品名が明示されているものを除く。)
船舶安全法　：その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
道路法　：車両の通行の制限
外国為替及び外国貿易法　：輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項(複素環式化合物(ヘテロ原子として窒素のみを有するものに限る。))
輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項(非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体)
輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項(アミン官能化合物)
輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項(ケトン及びキノン(他の酸素官能基を有するか有しないかを問わない。)並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体)
農薬取締法　：登録番号 第 24856 号

## 16. その他の情報

参考文献


・JIS Z 7252：2019　GHS に基づく化学物質等の分類方法
・JIS Z 7253：2019　GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
・原料 SDS


この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。